

駿河湾の知名度向上へ、世界に向けて情報発信

世界で最も美しい湾クラブ に加盟！

平成28年11月、駿河湾の「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟が正式に決定した。これは駿河湾が世界クラスと認定された証だが、加盟によって何が変わるのか。静岡県の取組と期待される効果について紹介する。

世界の名湾と
肩を並べた駿河湾

「世界で最も美しい湾クラブ」(正式名称:The MOST BEAUTIFUL BAYS in the world)は、湾を活かして観光振興や資源保護などを行うNGOだ。設立されたのは1996年。フランスのヴァンヌ市に本部を構え、ユネスコの後援を受け、世界25カ国、41湾が加盟している。同クラブの主な加盟基準は、優

れた自然の美しさがあること、豊かな生態系があること、地元住民にとって象徴的な存在であること、湾の周辺地域における経済活動と共存できることなどだ。これらに加え、ユネスコの文化遺産と自然遺産の登録基準のうち、少なくとも2つの特徴を満たしていなければならない。現在、国内の加盟は駿河湾、松島湾、富山湾、宮津湾・伊根湾の4カ所のみが認められており、今回の決定により、駿河湾も世界的な名湾と肩を並べたことになる。

本県は駿河湾の世界的な知名度向上や交流人口の拡大を図るため、平成27年1月から同クラブへの加盟を目指してきた。その後、推進体制を構築するため、駿河湾沿岸の11市町(伊豆市、沼津市、富士市、静岡市、焼津市、牧之原市、御前崎市、南伊豆町、松崎町、西伊豆町、吉田町)に賛同と協力を要請。平成28年2月にフィリピンのプエルト・ガララ市で開催された同クラブの年次総会で、知事が加盟意思表明のプレゼンテーションを行い、同年5月、本部審査員3名

による現地調査が行われた。その結果、同年11月、メキシコのプエルト・バイタルタ市の年次総会において加盟が決定した。

きな経済効果を生み出す。また、海外クルーズ船の寄港時には、高校生が通訳ボランティアとして活躍するなど、県民による国際交流の促進も期待される。さらに寄港のタイミングに合わせて、県産品のPRイベントを岸壁で開催することも可能だ。

した推進体制を構築し、観光振興や資源保護などに積極的に取り組んでいく。世界クラスと認定された駿河湾の未来が明るく輝いて見える。

加盟によって期待される効果

加盟により、湾クラブが持つ高いブランド力を活用した、駿河湾の魅力の世界へ向けた発信や、富士山、伊豆半島ジオパーク等との相乗効果による交流人口の拡大、加盟他湾との連携による駿河湾の魅力の発信や事業の実施、県民の駿河湾の魅力の再認識と保護活動の促進、世界的な知名度向上によるクルーズ船の寄港誘致港湾の利用の促進などが期待されている。

清水港においては、これまでも官民一体となったクルーズ船の誘致活動を積極的に行ってきた。その結果23年度の6隻から、28年度には過去最多の17隻が寄港予定と着実に増加しており、湾クラブ加盟を契機に清水港以外の港湾においても更なるクルーズ船寄港増加に向けてより積極的に誘致活動に取り組んでいく構えだ。

場の力にあふれた駿河湾

駿河湾の最深处の水深は2500m、国内最深の湾であり、沿岸から深海まで多様な生態系を持つ生命の宝庫でもある。そんな場の力にあふれた駿河湾の魅力を活かすため、本県は湾岸市町や観光協会等と連携

本県が大きな期待を寄せているのはクルーズ船の寄港誘致だ。クルーズ船寄港時には、多くの乗客と乗組員が周辺地域を訪れ、大



駿河湾を航行する飛鳥II

撮影:中村 武弘



クルーズ船寄港時に多くの乗客や県民でにぎわう岸壁



平成28年11月、メキシコのプエルト・バイタルタ市で行われた世界で最も美しい湾クラブの年次総会で、加盟証書の授与を受ける難波副知事。



平成28年2月、フィリピンのプエルト・ガララ市で行われた世界で最も美しい湾クラブの年次総会で、加盟意思表明のプレゼンテーションを行う川勝知事。